

1998年5月の大気大循環と世界の天候

大気循環

500 hPa 高度を見ると高緯度では波数1の循環が卓越し、カナダからグリーンランド、イギリス付近にかけては正偏差域が、北欧からシベリア、ベーリング海にかけては負偏差域が広がった。中緯度では、アジアから太平洋中部にかけて正偏差域が、大西洋から地中海にかけては帯状の負偏差域が広がった。帯状平均した偏西風は平年より南に偏った状態が続き、偏西風帯の北上が平年より遅かった。850 hPa では、海洋大陸から太平洋西部にかけての赤道付近で東風偏差が見られた。南方振動指数(SOI)は1年3か月ぶりに平年並の0.0となった。

世界の天候

① 中国東部・日本の高温

月平均気温は中国東部から日本にかけてかなり高くなり、中国のチチハルでは17.2°C (+2.8°C)。

② 日本の多雨

③ 中央アジアの多雨

降水量は中央アジアで多くなり、中国のウルムチで126 mm (44%)。中国各地で洪水の被害が報じられた。

④ 東南アジアの高温

⑤ インド西部・パキスタンの高温

アジア南部では大部分の地域で気温が高く、インドのアメダバードで35.5°C (+1.6°C)。インドでは月末にかけて熱波の影響で数百人の死者が出たと報じられた。カリマンタン島の森林火災の影響も引き続き報道された。

⑥ ヨーロッパ西部の高温・少雨

⑦ 中東・エジプトの多雨

月降水量は中東・エジプトで多かった。トルコ西部では下旬に洪水被害が報じられた。

⑧ アフリカ西部の高温

⑨ カナダ西部の高温・少雨

⑩ カナダ東部の高温

⑪ アメリカ合衆国西海岸の多雨

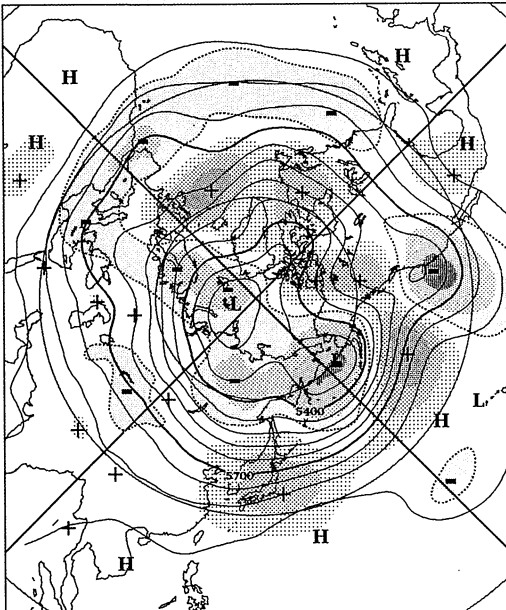
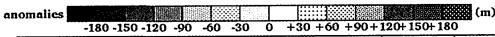
⑫ 合衆国南部からメキシコにかけての高温・少雨
合衆国南部からメキシコにかけて高温・少雨となり、森林火災の被害が伝えられた。

⑬ 南アメリカ北部の高温・多雨

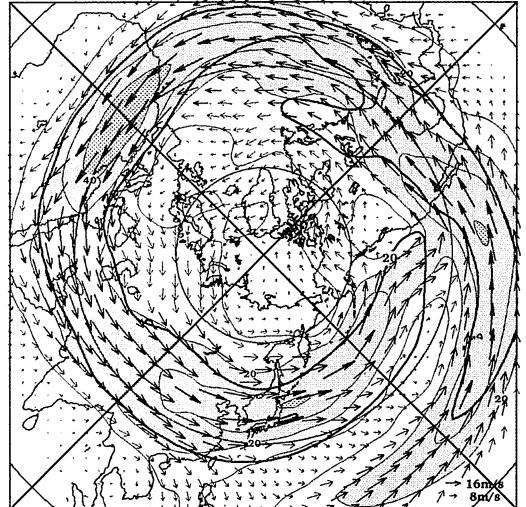
南アメリカ北部の高温が顕著となり降水量も多かった。

⑭ オーストラリア西部の高温

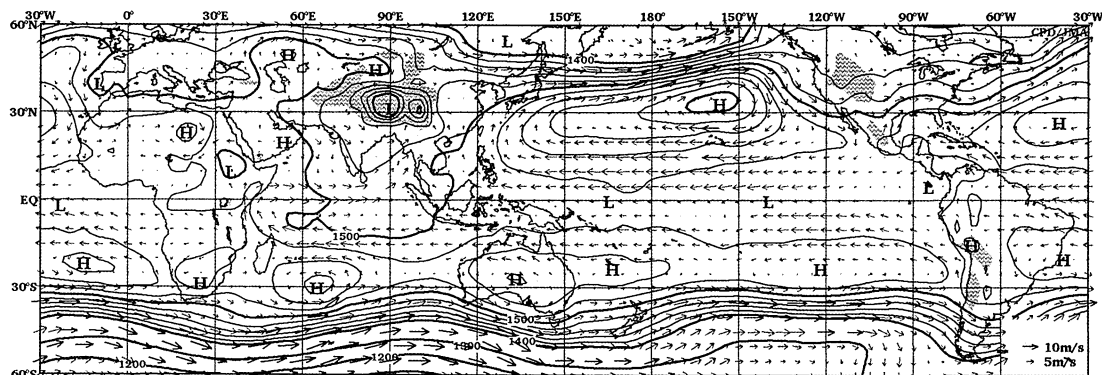
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 西潟 政宣)



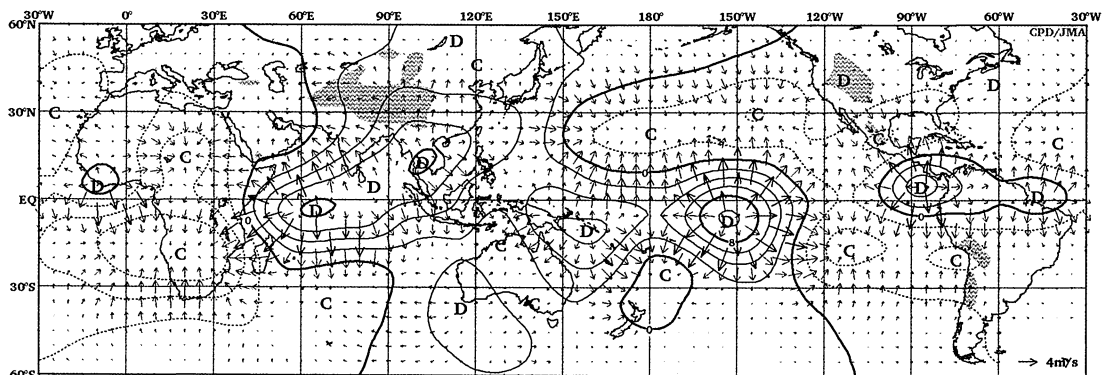
1998年5月の北半球月平均500 hPa高度および平年偏差
等値線間隔, 偏差パターン間隔は60 m. 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



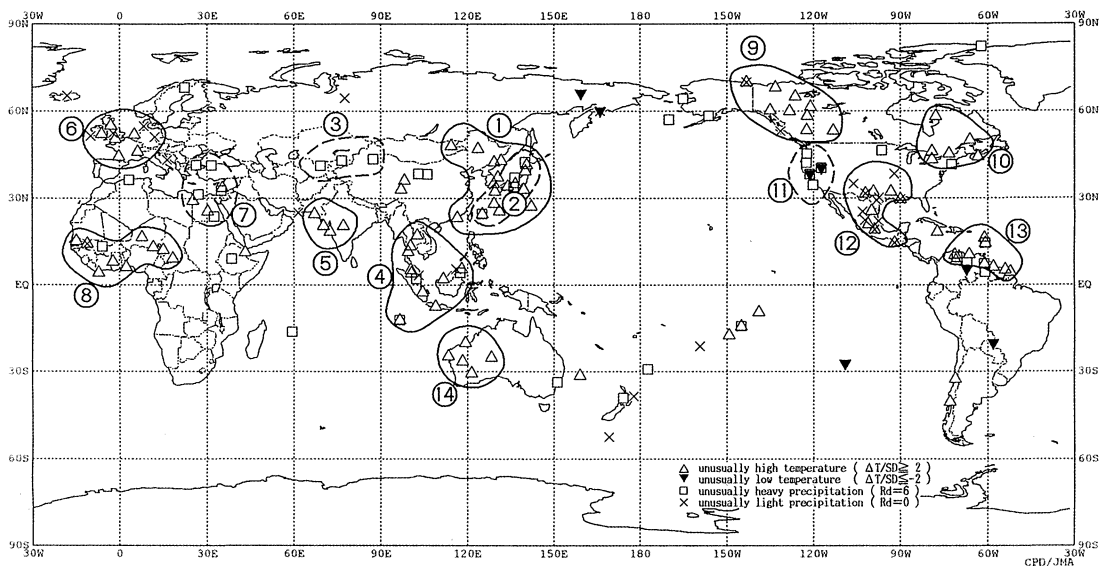
1998年5月の北半球月平均200 hPa風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上. 平年値は1979~1990年のデータに基づくもの。



1998年5月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



1998年5月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1998年5月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.